



ゼロ災への挑 戦!!

news ANZEN



Kaiho. anzen

発行：大日本土木安全協力会

東京都新宿区西新宿6-16-6

☎(03) 5326-3772(直通)

令和6年10月

No.142

仲間の声で危険を防ごう、
未来へつなぐ職場の安全

< 2024 全国建設業労働災害防止大会 大会スローガン >



2024年度 合同安全祈願

—— 猿田彦神社 ——

大日本土木株式会社・大日本土木安全協力会



CONTENTS

◇第 49 回定時総会報告 1

◇支部総会報告

・祝辞 大日本土木安全協力会	名誉会長 竹 田 勝 一	10
	(大日本土木(株) 代表取締役 常務執行役員)	
・祝辞 大日本土木安全協力会	会 長 森 屋 泰 則	11
	(株)森屋製作所 代表取締役会長)	
・挨拶 東 京支部総会	東 京支部長 藤 澤 徹	12
	(株)森田組 代表取締役)	
・挨拶 名古屋支部総会	名古屋支部長 酒井田 雅 一	14
	(株)酒井田工務店 代表取締役)	
・挨拶 大 阪支部総会	大 阪支部長 山 川 数 也	16
	(株)山川 代表取締役社長)	
・ 2024 年度支部総会並びに安全衛生大会結果報告		18

◇ 2024 年度 大日本土木安全協力会本部・支部役員名簿 …19

◇本部だより.....21

◇支部だより

・東 京支部	22
・名古屋支部	24
・大 阪支部	26

◇SDGs 入門 何のためにSDGsに取り組むのか？27

◇大日本土木(株)創立 80 周年記念事業28

第 49 回 定時総会報告



本部役員・支部理事代表

1. 第 49 回 定時総会開催

日 時：2024 年 7 月 5 日（金）14：00～15：00

会 場：伊勢シティホテル < 白 鳳 >

2. 開会の辞

酒井田副会長（名古屋支部長）の開会の言葉により開始した。

3. 安全協力会会長 挨拶

“ご安全に”

本年度も引き続き、大日本土木安全協力会、本部会長を務めます森屋でございます。

総会に際しまして、ご挨拶申し上げます。

本日はお忙しい中、竹田名誉会長をはじめ、本部役員・各支部の代表理事の方々に三重県は伊勢の国まで足をお運び頂いて感謝申し上げます。本総会は例年、7月の安全週間に開催されるのが慣例となっておりますが、更に今年からこの後に安全祈願・直会、明日は親睦会を予定いたしました。ですので明日までお付き合いのほどよろしくお願いいたします。

先月は各支部にて支部総会が開催されました。支部の皆様・事務局の方々に於いて



大日本土木安全協力会 会長

株式会社森屋製作所
代表取締役会長 森屋 泰則

は、準備・設営をして頂き感謝申し上げます。私も参加させていただきましたが、各支部とも安全に対する真摯な姿が拝見され、本部としては大変誇らしく思っております。私としましては、支部活動の後方支援を積極的に行う必要があると感じられましたので、具体的なご意見が有れば是非お聞かせください。合わせて各支店の安全大会にも参加させて頂きましたが、こちらも竹田常務を先頭に安全への決意を聞くことが出来ました。改めて、私たち安全協力会は大日本土木様と同調していくことが必要だと再認識するとともに、具体的な計画を必ず達成する決意をこの場でしたいと思います。

会長職を拝命して丁度一年が過ぎました。今までの会長職務を世襲しつつ、私のテーマであります「コミュニケーションとおもてなし」をどのように感じてもらうかを試行錯誤した一年でした。皆様にはまだまだ感じてもらえない部分も大いにあると反省しておりますので、その点についてもご意見をお聞かせください。そして昨年以上に「コミュニケーションとおもてなし」を感じてもらえるように精進していきたいと思っております。

大日本土木様は今年 80 周年を迎えられました。このアニバーサリーイヤーに本部会長を拝命している事、そして皆様の日頃のご支援・ご協力に感謝を申し上げて挨拶とさせていただきます。

“ご安全に”

4. 安全協力会名誉会長 挨拶

“ご安全に”

本日はお忙しい中、本部役員と支部理事代表の皆様ご参集のもと、大日本土木安全協力会の本部総会が開催されますこと、篤く御礼申し上げます。また、平素より当社の安全衛生管理活動、また、安全協力会の活動に大変ご尽力いただいていることに、篤く御礼申し上げます。

さて、昨年度の弊社の安全成績は災害数 33 件から 23 件と 2/3 に減少し改善傾向であり、何より 6 年間連続した死亡事故をストップ出来たこと、安全協力会の皆様に重ねて感謝申し上げます。

まずは、今年度、この減少傾向を逆戻りさせない、昨年ストップできた死亡事故を

起こさない、安全成績もさらに改善し各支社 5 件以内に抑えたいと強い思いでおります。また、今年度 4 月から現時点まで、不慮災害が 5 件発生しています。昨年度の同時期は不慮災害 3 件でしたので、昨年度よりも増加しております。また、昨年度は 6 月までは毎月 1 件ずつで合計 3 件でしたが、7 月だけで 5 件、8 月に 3 件、9 月に 4 件、10 月に 4 件と暑い時期 4 か月だけで 16 件発生し、全災害数の 70% はこの時期に発生しています。

この暑い時期に如何に災害数を抑えられるかが、各支社 5 件以内に災害数を抑えるポイントだと考えています。余談ですが、私も皆さん同様にゴルフを楽しみますが、真夏の暑い中でのゴルフは、集中力が落ち午後には体力も消耗し、結果としてミスショットも増えます。同様の事が真夏の現場作業でも考えられ、作業ミスも増え、いくつかのミスが重なれば災害に繋がると考えています。

作業所の環境は様々ですので、各作業所で様々な工夫を行ってもらっていますが、暑さ



大日本土木安全協力会 名誉会長

大日本土木株式会社

代表取締役 常務執行役員 竹田 勝一

を少しでも和らげる環境作りであるとか、作業員さんの施工体制や場合によっては作業時間を早朝から早上がりにするとか、協力会社の皆さんと作業所との創意工夫が重要です。

また、この3か月間、労働災害ではありませんが、初歩的なミスによる品質トラブルが散見されます。原因は断定できませんが、働き方改革の残業規制により当社社員が現場に張り付く時間が少なくなり目が届かない、或いは当社の人員構成がフタコブラクダの形態となっており、ベテランと20代若手の中間がいないため、技術の伝承が出来なくなっている等が本質的なトラブルと原因になっていないか、これがいつ品質だけで無く災害に繋がらないか、懸念してます。

本日は、本部役員と支部理事の代表の方がご列席されております。ご列席の皆様が中心となって各支社の安全衛生活動を牽引して戴くことに期待しております。弊社も今まで以上に、安全衛生活動に力を入れて行きたいと思っております。

いつも最後に言っております。お互いの会社のため、互いの社員、そして、そのご家族の方々のためにも、皆様と共にゼロ災を目指したいと思います。

最後になりますが、本日ご参集の皆様の益々のご繁栄とご活躍を祈念申し上げ、お祝いと御礼の挨拶とさせていただきます。

“ご安全に”

5. 議長選出

事務局より本総会は総数29名のうち出席者29名と報告され、総会の成立宣言がされた。続いて森屋会長に議長を務めていただくことが満場一致で承認され、議案の審議に入った。

6. 議案の承認

- (1) 第1号議案「2023年度事業報告並びに収支決算承認の件」「監査報告」を一括上程し、事務局報告の後、金神監事より監査報告がなされ、満場一致で可決承認された。
- (2) 第2号議案「労災総合保険等契約承認の件」
事務局長より内容説明があり、原案通り、満場一致で可決承認された。
- (3) 第3号議案「2024年度本部事業計画（案）並びに収支予算（案）承認の件」
事務局より内容説明があり、原案通り、満場一致で可決承認された。

7. 閉会の辞

藤澤副会長（東京支部長）の閉会の言葉により本総会を滞りなく終了した。



副会長（東京支部長）

株式会社森田組
代表取締役 藤澤 徹



副会長（名古屋支部長）

株式会社酒井田工務店
代表取締役 酒井田 雅一



副会長（大阪支部長）

株式会社山川
代表取締役社長 山川 数也

月 別 実施事業		2023年					
		4	5	6	7	8	9
安全祈願							
諸会議	本部理事会		5/26(金) 本部理事会 (東京)				
	第48回 定時総会				7/7(金) 定時総会・ 懇談会 (東京)		
	会計監査		5/15(月) 本部会計監査 (東京)				
	支部長会		5/15(月) 第1回 支部長会 (東京)				
安全協力会本部 パトロール						8/22 名古屋	
建設業労働災害防 止協会諸行事への 参加							
機関誌「あんぜん」 の発行		139号発行					
各支部定時総会 安全衛生大会				6/9(金)名古屋 6/15(木)東京 6/22(木)大阪			
その他		R4第3回 支部負担金					

事業報告

第 1 号議案

4 月 1 日
3 月 31 日

2023年			2024年			備 考
10	11	12	1	2	3	
	11/17(金)18(土) 合同安全祈願・ 直会・親睦会 (大阪・奈良)		安全祈願 1/13名古屋 1/16大阪 1/18本部 1/25東京			・ 合同安全祈願 (全役員) ・ 新年安全祈願 (本部・各支部実施)
						名誉会長、会長、副会長(支部長)、 本部理事(副支部長、本部支部事務局 長)、本部監事、本部事務局参加
						名誉会長、会長、副会長(支部長)、 本部理事(副支部長、本部支部事務局 長)、本部監事、支部理事代表、本部 事務局参加
						名誉会長、 会長、本部監事、本部事務局長参加
10/5(木) 第2回 支部長会 (広島)		12/8(金) 第3回 支部長会 (長崎)			3/15(金) 第4回 支部長会 (名古屋)	名誉会長、会長、副会長 (支部 長)、本部支部事務局長、必要に応 じて本部監事参加 (会長より依頼)
		12/5-6 東京			3/7 大阪	各支部 1 回 会長、副会長 (会長欠席の時は副会長が 会長代理)、本部支部事務局、名誉会長 は参加できる場合は参加
10/5(木)6(金) 第60回全国建設 業労働災害防止 大会 (広島)						名誉会長、会長、副会長(支部長)、 本部支部事務局長参加
140号発行						年2回発行 定時総会、支部総会、PTR推進大会、支 社支店受付等で配布
						支部定時総会の来賓 名誉会長・会 長・事務局長 (会長欠席の時は事務 局長が会長代理)
第1回 支部負担金		12/8(金)9(土) 幹部意見交換会 年度会社交付金	第2回 支部負担金			・ 年度会社交付金請求

大日本土木安全協力会 御中

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

代理店 エムエスティ保険サービス株式会社

損害保険お見積

【労災総合保険】

保険期間 令和6年7月14日～令和7年7月14日(1年間)

過去の損害率による割引 40%適用 *昨年度40%

単位(万円)		基本契約	通勤災害
		給付額	
死亡		1,000万円	1,000万円
後遺傷害	1級	750万円	750万円
	2級	750万円	750万円
	3級	750万円	750万円
	4級	300万円	300万円
	5級	250万円	250万円
	6級	200万円	200万円
	7級	150万円	150万円
	8級	50万円	50万円
	9級	40万円	40万円
	10級	30万円	30万円
	11級	20万円	20万円
	12級	10万円	10万円
	13級	10万円	10万円
	14級	10万円	10万円

年間保険料
3,363,630円分割保険料(3回払)
1,121,210円

特約

- 通勤災害補償特約
- 災害付帯費用補償特約(基本型)
- 保険料確定特約(直近会計年度末用)B1
- 有期事業契約特約(包括契約用)B9
- 下請負人補償特約

【団体総合生活補償保険】

保険期間 令和6年7月14日～令和7年7月14日(1年間)

補償区分 就業中のみ補償

準記名式 一部付保(下請工事従事者のうち、政府労災保険における特別加入者)

団体割引 5%

死亡・後遺障害	10,000千円
1名あたり保険料	5,100円
被保険者数	30名
人数分合計保険料	153,000円

*ご契約の内容の詳細につきましては、パンフレット、約款、重要事項説明書をご確認いただきますようお願いいたします。

2024年度 本部事業計画（案）

（自：2024年4月1日～至：2025年3月31日）

本会の安全衛生に係わる労働安全衛生法第29条・第30条及び第32条の主旨に基づき、会社と協力して作業所における労働災害防止に努めるとともに、労働災害に対する給付事業を行うため会員企業等を被保険者とした保険契約を締結し、また、会社と協力会社とのパートナーシップの強化を図り、施工品質確保に努め、会員企業の安定と従業員の福祉を目的として下記事業を行う。

＜実施予定事業＞

- 1) 支部が行う安全衛生大会開催の支援
 - ・名誉会長、会長、本部事務局長は支部安全衛生大会に参加
 - ・支部安全衛生大会に安全冊子等記念品の提供
 - ・支部総会の実施結果等を、機関誌「あんぜん」及び「大日本土木㈱ホームページ」を通じて安全協力会会員へ報告
- 2) 安全協力会本部パトロール 各支部1回
 - ・安全協力会各支部の作業所で安全衛生環境パトロールの実施
- 3) 本会を運営するために必要な会議体の実施
 - ・本部理事会（名誉会長・会長・副会長・本部理事・本部監事が参加）
 - ・定時総会（名誉会長・会長・副会長・本部理事・本部監事・支部理事代表が参加）
 - ・中央協議会（安全協力会と会社において、協議を必要とした場合に随時開催）
 - ・支部長会 年4回（会長・支部長・本部支部事務局長が参加）
- 4) 安全表彰に関すること
 - ・無災害作業所における優秀職長の表彰
 - ・会社の募集する安全・環境に関する論文、標語、ポスターの表彰に協賛
- 5) 労災補償に係わる保険管理業務
 - ・大日本土木㈱作業所における安全協力会会員の労災補償
- 6) 機関誌「あんぜん」の発行 年2回
- 7) 建設業労働災害防止協会等が実施する諸行事への参加
- 8) 会社と安全協力会の相互連携を保つための活動
 - ・合同安全祈願、意見交換会、親睦会を会社と共同開催
- 9) 社会の動向に併せた活動の実施
- 10) その他労働災害に防止に必要なこと
 - ・安全協力会各支部の安全活動を推進するための助成
 - ・労働災害防止、作業環境の整備・改善に関する調査研究

2024 年度

自：2024 年

至：2025 年

月 別 実施事業		2024年					
		4	5	6	7	8	9
安全祈願					7/5(金) 合同安全祈願 (猿田彦)		
諸 会 議	本部理事会		5/24(金) 本部理事会 (名古屋)				
	第49回 定時総会				7/5(金) 定時総会 (伊勢)		
	会計監査		5/16(木) 本部 会計監査 (東京)				
	支部長会		5/16(木) 第1回 支部長会 (東京)				
安全協力会本部 パトロール							
建設業労働災害防 止協会諸行事への 参加							
機関誌「あんぜん」 の発行		141号発行					
各支部定時総会 安全衛生大会				6/07(金) (名古屋) 6/21(金) (東京) 6/27(木) (大阪)			
その他		R5第3回 支部負担金		DNC創立80周年 記念行事	7/6(土) 親睦会		年度会社交付金

事業計画（案）

4 月 1 日
3 月 31 日

2024年			2025年			備 考
10	11	12	1	2	3	
			安全祈願 1/17本部 1/23東京 1/11名古屋 1/23大阪			・ 合同安全祈願（全役員） ・ 新年安全祈願（本部・各支部実施）
						名誉会長、会長、副会長（支部長）、 本部理事（副支部長、本部支部事務局 長）、本部監事、本部事務局参加
						名誉会長、会長、副会長（支部長）、 本部理事（副支部長、本部支部事務局 長）、本部監事、支部理事代表、本部 事務局参加
						名誉会長、 会長、本部監事、本部事務局長参加
	第2回 支部長会 （静岡）	第3回 支部長会 （大阪）			第4回 支部長会 （名古屋）	名誉会長、会長、副会長（支部 長）、本部支部事務局長、必要に応 じて本部監事参加（会長より依頼）
○ 名古屋 大阪	○ 東京					各支部 1 回 会長、副会長（会長欠席の時は副会長が 会長代理）、本部支部事務局、名誉会長 は参加できる場合は参加
全国建設業 労働災害防止 大会 （東京）						任意参加
142号発行						年2回発行 定時総会、支部総会、PTR推進大会、支 店受付等で配布
						支部定時総会の来賓 名誉会長・会 長・事務局長（会長欠席の時は事務 局長が会長代理）
第1回 本部納付金	幹部意見交換会		第2回 本部納付金			

支部総会開催（各支店 安全衛生大会 併催）

令和6年6月7日（金）の名古屋支部総会を皮切りに、東京、大阪各支部総会が開催されました。

安全協力会名誉会長 祝辞

“ご安全に”

只今、ご紹介いただきました竹田でございます。今年度も引き続き安全協力会 本部名誉会長を務めることとなりました。安全協力会会員の皆様のご協力、ご支援を賜りながら、昨年度よりもさらに安全衛生管理活動を充実させたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

先ほど、本総会議事におきましては、支部の活動報告・予算等の審議が滞りなく承認されましたこと、重ねてお慶び申し上げます。また、表彰式におきましては、協力会優良職長の表彰をお受けになられた皆様、誠にありがとうございます。

さて、建設業における労働災害は令和2年から令和4年まで頭打ちの状況でしたが、昨年度は改善が進み、死亡者、死傷者数共に過去最低数になっております。弊社の昨年度の安全成績も、海外も含めた全店で、JVサブも含めて23件と一昨年度の33件から約2/3に減少させることが出来ました。6年間続いていた死亡事故も止めることができ、昨年度の安全衛生活動の一定の成果が出たものと、皆様の安全衛生活動に熱く御礼申し上げます。

しかしながら、“墜落転落災害、建設機械・クレーン災害、崩壊・倒壊災害、そして公衆災害”は重点管理項目として取り組んだにも関わらず、内容の悪い災害も含めて発生しています。我々は、この結果を真摯に受け止め、新たな目標として各支店5件以内に災害を抑え、且つ、内容の悪い、1つ間違えば重大災害に繋がるような災害は絶滅させたいと思っています。

目標達成には、当社と安全協力会の皆様が協力し、一丸となって安全衛生管理活動に取り組まないと難しいと考えます。お互いの会社のため、互いの社員、そして、そのご家族の方々のためにも、会員各位の皆様と共にゼロ災を目指したいと思います。

最後になりますが、本日まで参集の皆様の益々のご繁栄とご活躍を祈念申し上げ、お祝いと御礼の挨拶とさせていただきます。

“ご安全に”



大日本土木安全協力会 名誉会長

大日本土木株式会社

代表取締役 常務執行役員 竹田 勝一

安全協力会会長 祝辞

“ご安全に”

只今、ご紹介頂きました安全協力会本部、会長を拝命しております森屋でございます。僭越ではございますが、安全協力会支部総会の開催に当たり、一言ご挨拶をさせていただきます。

まずもって令和6年度 安全協力会支部総会が盛大に開催されますことをお祝い申し上げると共に、支部会員の皆様には安全協力会の事業運営と労働災害防止活動に対し、日頃から格別なる御支援とご協力を賜っていますこと、厚く御礼を申し上げます。また、先程は全ての議案が満場一致にて可決承認されましたことにも重ねてお慶び申し上げます。そして、本日日頃の労働災害防止活動への積極的な取り組みが実を結び、協力会社優良職長として表彰された職長の皆様、誠におめでとうございます。

皆様の安全に対する熱意、知識、技術が、我々安全協力会と、大日本土木様を、そして建設業界全体をこれからも支えていくものと信じております。心より敬意を表すると共に、今後も一層の御協力をお願い申し上げます。

さて、ご承知かと思いますが、昨年度の全店の安全成績は件数的には前年度より減少したものの、墜落・転落災害といった重点管理災害および交通事故・公衆災害が発生しております。この事実を深く受け止め、現場ルールを確実に守り、お互いに「ヒューマンエラー」の撲滅を図るべくコミュニケーションを取る事で、昨年以上の良い成績で終わります様に、安全協力会会員皆様のご協力を切にお願い申し上げます。

今月は「全国安全週間」の準備期間でございます。今年度の「全国安全週間」のスローガンは、「危険に気付くあなたの日 そして摘み取る危険の芽 みんなで築く職場の安全」です。法令順守は勿論のこと、職場ルールをしっかりと守り、全員参加で危険を摘み取り、労働災害は絶対に起こさないという信念の下、「災害ゼロ」を達成しようではありませんか。本日の支部総会を良き機会と捉え、会員各社の皆さんが「安全」に対して真剣に向き合い、「安全」で品質の良い仕事をするための努力と工夫を積み重ねた結果が、「災害ゼロ」に結びつくと思います。

今、少子高齢化により労働人口が減少する中、建設業界も若年入職者の減少や就業者の高齢化が進行するなどの構造的な問題に直面しています。将来にわたってインフラ整備を支える担い手を確保するためには、処遇改善等を通じて、建設業への若年層の入職が促進されることが必要であり、そのためには、作業員の安心安全の確保や、社会保険加入の促進を図り、建設キャリアアップシステムの積極的な普及活動を協力会としては行っていきたいと考えています。

大日本土木様は6月に創立80周年を迎えられました。誠におめでとうございます。そして安全協力会は今年で48年目を迎えております。この長きにわたり、会社と安全協力会が共に歩んでこられたのは、我々協力会員の揺るがぬ安全意識と確かなものづくりがあって、会社の信頼と評価を得た結果であります。これからも高いモラルをもって、全員で安全・安心・健康で魅力のある職場環境を造っていきましょう。

最後になりましたが、大日本土木株式会社の益々のご繁栄と、本日まで参加をいただきました支部会員各社のご隆盛と、皆様方のご健康とご活躍をご祈念申し上げまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

“ご安全に”



大日本土木安全協力会 会長

株式会社森屋製作所

代表取締役会長 森屋 泰則

安全協力会 東京支部長 挨拶

“ご安全に”

只今ご紹介を頂きました、安全協力会東京支部長を仰せつかっております、森田組の藤澤でございます。安全協力会東京支部、2024年度総会の開催に当たり、高いところから大変僭越ではございますが、一言簡単にご挨拶をさせていただきます。

本日、本総会のご案内をしたところ、会員の皆様には大変お忙しい中、また、梅雨時の蒸し暑い中にもかかわらずこのように大勢の方々にお集まりをいただき、当総会が盛大に開催する事ができ、後ほど議案のご審議を頂けますこと、厚く御礼を申し上げます。また、御多忙中にも関わらず、大日本土木安全協力会本部より、竹田名誉会長様、森屋会長様、岡山事務局長様のご臨席を賜り、誠にありがたく厚く御礼を申し上げます。安全協力会東京支部会員の皆様方には、平素より支部の事業運営並びに、労働災害防止活動に、ご支援とご協力を賜り、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。お蔭をもちまして、令和5年度支部事業計画とその運営が、ほぼ滞りなく推進でき、本日の総会の運びとなりました。御礼とご報告を申し上げます。

東京支部における令和5年度の安全成績は、不休2件で前年度に比べ減ってはいますが、死亡災害は絶対に防がなければなりません。全ての職場において、それぞれの持ち場で労働災害防止に積極的に取り組んでいただいていることに心より御礼申し上げます。そして今後の安全管理の徹底をお願い致します。

今月は、7月1日から始まる「全国安全週間」の準備月間です。今年度の全国安全週間のスローガンは「危険に気付くあなた目、そして摘み取る危険の芽、みんなで築く職場の安全」で一斉に展開されます。安全協力会は、全社安全スローガン「なくそう災害 全員参加の「先取り安全」！」東京支部会員の皆様の、一層のご協力により、無事故無災害に向け、邁進しようではありませんか。

建設業界を取り巻く環境は、材料費の高騰、技能者の不足等があり、厳しい状況にあります。こうした厳しい状況下にあっても 私たちは、労働災害防止に向けて、一層の取り組み強化が 求められています。大日本土木(株)と協力会社と相連携し、労働災害防止、環境法令違反防止、そして環境保全を行うのが「安全協力会」活動です。施工品質の確保、生産性向上の取り組みを加えた、「パートナー会」と共に、安全衛生管理活動に加え建設キャリアアップシステム、グリーンサイトの活用現場における働き方改革を、進めていかなければなりません。会員各社の皆様の、ご理解とご協力を何卒お願い申し上げます。

如何なる時も、如何なる環境にあっても「安全第一」です。労働災害は、絶対に起こしてはなりません。安全協力会 東京支部は、今年度も役員による合同一斉パトロール、職長会活動の充実、「ヒューマンエラー」の撲滅を目指し、労働災害防止に努めてまいります。会員の皆様の、ご支援ご協力を、宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、本日、令和5年度の労働災害防止活動の功績が認められ、栄えある表彰を受けられます方々に心からお祝いを申し上げますとともに、大日本土木株式会社の益々のご繁栄、会員各社のご発展とご健勝を 心から祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

“ご安全に”



東京支部長 （本部副会長）

株式会社森田組 代表取締役 藤澤 徹



東京支部理事一同



総会状況



社長表彰



支店長表彰



受賞者



新ユニフォーム展示



来賓 新宿労働基準監督署
署長 雨森哲生



特別講演 「強い組織を作り上げる組織論」
元プロ野球選手・野球解説者 高木 豊

じゅうろくプラザ

安全協力会 名古屋支部長 挨拶

“ご安全に”

只今ご紹介を頂きました。安全協力会名古屋支部長を仰せつかっております、酒井田工務店の酒井田でございます。安全協力会名古屋支部、2024年度の総会の開催にあたり、高いところから大変僣越ではございますが一言ご挨拶申し上げます。

まずは、今年元旦に発生しました、能登半島地震により多くの方々が被災され、激甚の被害となりました。被災された方々に対しお悔やみとお見舞を申し上げます。

本日は、会員の皆様には大変お忙しい中、このように多数の方々にご参集いただき、当総会が盛大に開催できますこと、また後ほどの議案のご審議を頂けますこと、厚く御礼を申し上げます。そして業務御多忙中にも関わらず、大日本土木安全協力会本部より、竹田名誉会長様、森屋会長様、岡山事務局長様のご臨席を賜り、誠にありがたく厚く御礼を申し上げます。

安全協力会名古屋支部会員の皆様方には、平素より支部の事業運営並びに、労働災害防止活動の運営に、日頃から格別のご支援、ご協力を賜り、この場をお借りして心より厚く御礼申し上げます。

昨年度はお蔭をもちまして、少しずつではありますが、コロナ禍以前の活動に戻りつつあり、令和5年度支部事業計画とその運営が、ほぼ滞りなく実施でき、本日の運びとなりました。しかしながら安全協力会の目的でもあります災害防止の観点から申し上げますと、名古屋支部の令和5年度の安全成績は、休業4日以上災害が1件、不休災害が5件の結果でありました。またJVサブ工事において不休災害が4件発生し、全10件の災害発生であり、前年度のトータル15件に比べ改善しておりますが、地下埋設物、架空線等のインフラ損傷による公衆災害、交通事故等は9件発生し、役員の中でも問題になっております。これらの事故は内容によっては顧客、地域、社会等のステークホルダーに対し、大きな影響を及ぼしかねません。その結果、会社の事業運営の弊害につながる恐れも考えられます。今一度、災害、事故等の防止に取り組むよう、会員各社の皆様をお願い申し上げます。

今年度に入りましてからは、労働災害はまだ発生しておりません。しかしながら、昨年度も多く発生しました、インフラ等の損傷による公衆災害が2件、すでに発生しておりますので、この総会を機に、まずは上期の無事故無災害、そして今年度、無事故無災害となりますように、会員皆様方のご協力とご支援を賜りますよう、切にお願い申し上げます。

今月は、7月1日から始まる「全国安全週間」の準備月間です。今年度の全国安全週間のスローガンは「危険に気付くあなたの目 そして摘み取る危険の芽 みんなで築く職場の安全」で展開されます。全国的に見まして、これまで各事業場で、労働災害防止対策が展開され、労働災害は長期的には減少しております。昨年度の労働災害については、死亡災害は前年を下回る見込みであります、休業4日以上死傷災害は前年を上回る見込みで



名古屋支部長（本部副会長）

株式会社酒井田工務店
代表取締役 酒井田 雅一

あり、近年、増加傾向に歯止めがかからない状況となっているそうです。特に、転倒や腰痛といった労働者の作業行動に起因する死傷災害、墜落・転落などの死亡災害が依然として後を絶たない状況にあります。

我々、安全協力は、全社安全スローガン「なくそう災害 全員参加の「先取り安全」！」及び、安全目標である「死亡・重篤・公衆災害ゼロ」を達成すべく、名古屋支部会員の皆様の、一層のご協力により、無事故無災害に向け、邁進するよう、お願い申し上げます。

円高による、原材料費等の高騰、人手不足による未熟練労働者の増加、働き方改革関連法案による労働時間の上限規制等、建設業を取り巻く環境は 厳しい状況にあります。こうした厳しく困難な状況下にあっても、労働災害防止の一層の取り組みが求められています。名古屋支部会員各社の皆様方には、是非とも実行性のある安全衛生管理活動に、日々取り組んで頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。

これから熱中症・食中毒の危険が高まり、また高年齢者の方々にとって、大変暑く厳しい季節となります。本日を良き機会とし健康管理を含め、今年度の災害防止活動をお願い致します。

結びになりますが、大日本土木株式会社様の益々のご繁栄と、本日まで参集いただきました、会員各社のますますのご発展と、皆様方のご健勝を祈念申し上げまして、私の挨拶とさせていただきます。

“ご安全に”



総会状況



表彰式



受賞者一同



特別講演「プロはミスをしないう～超一流の人々のリスク管理～」
フリーアナウンサー 石川 顕

安全協力会 大阪支部長 挨拶

“ご安全に”

令和6年度 大日本土木安全協力会支部総会にあたり、一言ご挨拶申し上げます。わたくし、安全協力会大阪支部長を拝命させていただいております、株式会社山川の山川でございます。よろしくお願い申し上げます。

本日は、令和6年度大日本土木安全協力会大阪支部総会並びに西日本支店安全衛生大会を開催しましたところ、会員の皆様におかれましてはご遠方、またご多忙中にも関わらず、多数の方に御出席頂き誠に有難うございます。また、本日ご来賓として大日本土木安全協力会本部より、竹田名誉会長様、森屋会長様、岡山事務局長様のご臨席を賜り、このような盛大な総会を開催できますことを心より厚く御礼申し上げます。

会員の皆様には、日頃から安全衛生管理活動並びに安全協力会の事業活動に格別のご支援、ご協力を頂き、この場をお借りして御礼申し上げます。おかげをもちまして安全協力会大阪支部の令和5年度の事業計画が、予定通り順調に推移し、本日の総会の運びとなりました。御礼とご報告申し上げます。

今年の1月1日16時10分に能登半島で震度7の地震が発生しました。亡くなられた方々にお悔やみを申し上げますと共に、被災された方々に心よりお見舞い申し上げ、1日も早い復興を願っております。

国内の建設業界を取り巻く状況に目を向けると、2024年問題ともいわれる働き方改革関連法が、この4月より建設業界においても適用されました。労働基準法の改正により、時間外労働の上限を超過した場合は、罰則が設けられました。建設就業者は、ピークだった1997年以降減少傾向にあり、55歳以上の高齢者が3割以上を占め、全体的に高齢化しています。10年後にはこの高齢者の大半が引退するとみられ、中長期的な担い手を確保する必要があります。建設業界が生き残っていくには、高齢者、女性、外国人などの新たな雇用制度を整備するとともに、労働環境を改善し若年層の労働者が定着しやすい環境にし、業務の省力化にも取り組む必要があります。

令和5年度の建設業の死亡災害は223人、前年比約20%の減、死傷災害については14,414人で0.9%減のほぼ横ばいの状況です。西日本支店の令和5年度の災害発生状況は、土木3件、建築5件の合計8件で、事故の型別では、起こしてはならない墜落・転落災害、崩壊・倒壊災害が発生しました。事故災害は、場所、人、時間を問いません。墜落制止用器具を着用したら必ず使用するように心がけて下さい。自分のため、家族のため、そして働く仲間のためをお願い致します。

西日本支店の安全衛生方針にもありますように、「先取り安全」を確実に行之い、安全のルールを遵守してください。そして職長会活動を活性化し協力会社同士、不安全設備、不安全行動をお互いに指導し合える風通しの良い職場環境を構築し、死亡、重篤、公衆災害のゼロを達成できるよう会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。

最後になりますが、今後ともより一層安全衛生活動を充実させ、災害のない職場にして頂き、会員各社の益々のご繁栄を祈念申し上げて、私の挨拶とさせていただきます。

“ご安全に”



大阪支部長（本部副会長）

株式会社山川 代表取締役社長 山川 数也



総会状況



社長表彰



会長表彰



支部長表彰



受賞者一同



来賓 大阪中央労働基準監督署 高野課長



特別講演「安全を高める現場の伝え方、聴き方」
フリーアナウンサー 古瀬絵里



講演拝聴

2024年度 支部総会・安全衛生大会 結果報告

支 部 総 会		東京支部	名古屋支部	大阪支部
安 全 衛 生 大 会		東日本支店 海外支店	中日本支店	西日本支店
月 日		6月21日（金）	6月7日（金）	6月27日（木）
場 所		全電通労働会館	じゅうろくプラザ	大阪国際交流センター
出席者	来 賓 他	5 名	13 名	1 名
	協 力 会 社	204 名	289 名	312 名
	大日本土木(株)	125 名	49 名	76 名
	合 計	334 名	351 名	389 名
安全表彰	支部総会			
	本部会長表彰 (協力会社優良職長)	2 名	4 名	3 名
	支部長表彰 (協力会社優良職長)	12 名	12 名	12 名
	安全衛生大会			
	社長表彰 (無災害作業所 及び 協力会社)	東日本支店 2社 海外支店 1社	4 社	3 社
	支店長表彰 (無災害作業所 及び 協力会社)	東日本支店 12社 海外支店 1社	12 社	12 社
C C U S 活動表彰 (国 内)		[支店長表彰] 土木作業所 1 所 建築作業所 1 所	[社長表彰] 中日本支店 建築部門 [支店長表彰] 土木作業所 1 所 建築作業所 1 所	[支店長表彰] 土木作業所 1 所 建築作業所 1 所
来 賓		新宿労働基準監督署 署長 雨森哲生 様	—	大阪中央労働基準監督署 安全衛生課 課長 高野 清司様
特 別 講 演		『強い組織を作り上げる組織論』 元プロ野球選手 解説者 高木 豊 様	『プロはミスをしない 一超一流の人々のリスク管理一』 フリーアナウンサー 石川 顕 様	『安全を高める現場の伝え方、 聴き方』 フリーアナウンサー 古瀬 絵里 様

2024 年度 大日本土木安全協力会 本部・支部役員名簿

本・支部	役職	会 社 名	役 職	氏 名
本部	名誉会長	大日本土木(株)	代表取締役 常務執行役員 兼 土木本部長	竹田 勝一
	本部長	(株)森屋製作所	代表取締役 会長	森屋 泰則
	本部監事	金神鋼業(株)	代表取締役 社長	金神 徹尚
	本部監事	大日本土木(株)	執行役員 管理副本部長 兼 総務部長	前田 茂浩
	本部事務局長	大日本土木(株)	本社 環境安全品質部長	岡山 孝
東京支部	名誉支部長	大日本土木(株)	執行役員 東日本支店長	小椋 克泰
	支部長	(株)森田組	代表取締役	藤澤 徹
	副支部長	兄玉建設(株)	常務取締役	深津 三峰男
	副支部長	北稜建設(株)	代表取締役	小川 滋
	理事	成友興業(株)	顧問	萩森 孝紀
	理事	(有)明伸	代表取締役 社長	島田 明壽
	理事	真和建設(株)	代表取締役	明本 真吾
	理事	山崎建設(株)	執行役員 支店長	石井 隆之
	理事	(株)弘左官工業	代表取締役	平野 弘幸
	理事	三生設備(株)	専務取締役	細井 聖啓
	理事	向井建設(株)	土木営業部 部長	鶴 浩徳
	監事	(株)横内工業	取締役 社長	湯本 伸矢
	監事	大日本土木(株)	東日本支店 総務部長	森川 嘉美
	事務局長	大日本土木(株)	東日本支店 環境安全品質部次長	土田 芳典
名古屋支部	名誉支部長	大日本土木(株)	常務執行役員 中日本支店長 兼 岐阜本店長	田中 克幸
	支部長	(株)酒井田工務店	代表取締役	酒井田 雅一
	副支部長	(株)岡崎組	代表取締役	岡崎 弘志
	副支部長	(株)永山工務店	代表取締役 社長	永山 善一

本・支部	役職	会 社 名	役 職	氏 名
名古屋支部	理事	飯島鉄筋工業(株)	代表取締役	飯島 勉
	理事	横山工業(株)	代表取締役	横山 英司
	理事	(株)大菅工業	代表取締役	白木 毅仁
	理事	海津建設(株)	代表取締役 社長	近藤 正
	理事	(株)小澤塗工店	代表取締役	一宮 久朗
	理事	(株)横建	代表取締役	横山 浩之
	理事	(株) TATSUMI	代表取締役	後藤 諭
	理事	(株)森屋製作所	代表取締役 社長	大岡 基文
	監事	金神鋼業(株)	代表取締役 社長	金神 徹尚
	監事	大日本土木(株)	中日本支店 総務部長	大石 昌央
	事務局長	大日本土木(株)	中日本支店 環境安全品質部次長	亀井 利勝
大阪支部	名誉支部長	大日本土木(株)	執行役員 西日本支店長	細野 俊英
	支部長	(株)山川	代表取締役 社長	山川 数也
	副支部長	(株)浅田鉄筋	代表取締役	浅田 宜彦
	副支部長	(株)村岡	代表取締役 会長	村岡 順次郎
	理事	(株)木村商会大阪	代表取締役	谷 勝満
	理事	(株)ミズノ	代表取締役	水野 淳
	理事	(株)菅工務店	常務取締役	菅 吉弘
	理事	(株)高岸	代表取締役 社長	高岸 典雄
	理事	(株)あさひ産業	専務取締役	西川 知文
	理事	(株)藤井製作所	代表取締役	藤井 良一
	監事	(株)フセナガセ	代表取締役 社長	青井 波憲
	監事	大日本土木(株)	西日本支店 総務部長	荒沢 尚之
	事務局長	大日本土木(株)	西日本支店 環境安全品質部次長	廣瀬 淳司

本部だより

1. 安全衛生環境パトロール

名古屋支部作業所（中日本支店）において本部パトロールを実施しました。

- 1) 実施日：令和6年10月1日（火）
- 2) 巡視作業所：中日本支店（土木）名市新道推進作業所
- 3) 発注者：名古屋市上下水道局
- 4) 工事名称：新道第2雨水幹線下水道築造工事
- 5) 巡視者：森屋会長、酒井田副会長（名古屋支部長）、竹田名誉会長（代表取締役常務執行役員）、長谷川支部顧問（中日本支店土木工事部長）、岡山本部事務局長（本社環境安全品質部長）、亀井支部事務局長（中日本支店環境安全品質部次長）、蒲原統括所長（中日本支店土木工事部）



パトロール員一同



会長安全講和

- 1) 実施日：令和6年10月2日（水）
- 2) 巡視作業所：中日本支店（建築）岐阜華陽高改築作業所
- 3) 発注者：岐阜県知事 古田 肇
- 4) 工事名称：華陽フロンティア高本館棟改築建築工事
- 5) 巡視者：森屋会長、酒井田副会長（名古屋支部長）、竹田名誉会長（代表取締役常務執行役員）、片桐支部顧問（中日本支店建築工事部長）、岡山本部事務局長（本社環境安全品質部長）、亀井支部事務局長（中日本支店環境安全品質部次長）、宮川次長（中日本支店土建築工事部）



パトロール員一同



名誉会長安全講和

2. 下期活動予定

- | | |
|----------------|-------------------------------|
| ① 安全協力会本部パトロール | 大阪支部作業所（西日本支店） R6年10月25日（金） |
| ② 安全協力会幹部意見交換会 | 東京支部作業所（東日本支店） R6年11月19日（火） |
| ③ 支部長会議の実施 | R6年11月 |
| ④ 新年安全祈願の実施 | R6年11月（静岡）、12月（大阪）、R7年3月（名古屋） |
| | R7年1月17日（金） |

支部だより

東京支部

1. 安全衛生環境パトロール

労働災害の撲滅を目指し、令和6年6月28日に、第1回安全衛生環境パトロールを、藤澤支部長をはじめ協力会支部役員で建築土木にて4作業所で実施しました。パトロール実施後は、支店にて支店長、副支店長、工事部長に参加頂き、パトロール結果と安全協力会からの要望事項等を報告し、今後の安全衛生管理に生かして頂くようお願い致しました。



現場巡視



パトロール員一同

<土木> J S宇都宮P作業所



<土木> 所沢造成作業所



<建築> PL 錦糸町倉庫作業所



現場巡視



安全講和

<建築> 新宿文化C作業所

2. 研修会（環境）

令和6年7月10日に、日本キャタピラー D-TechCenter（埼玉県秩父市）において、最新の建設機械の技術（遠隔操作によるデモンストレーション）の体験、及び座学による建設機械におけるカーボンニュートラルの現状、及び今後の課題について学びました。



遠隔操作システム



デモンストレーション（大型ダンプ）



カーボンニュートラルへの取組



研修会参加者一同

3. 下期事業予定

- | | |
|-----------|---------------------------------------|
| (1) 支部理事会 | R6年11月、12月、R7年3月 開催予定 |
| (2) パトロール | R6年10月、R7年2月 実施予定 |
| (3) 安全祈願 | R6年10月 熊野神社にて安全祈願
R7年1月 明治神宮にて安全祈願 |
| (4) その他事業 | 熱中症防止対策事業、安全教育用DVD貸出し、
職長会運営助成事業等 |

名古屋支部

1. 安全衛生環境パトロール

令和6年9月19日(木)に第1回合同安全衛生環境パトロールを実施しました。田中名誉支部長(支店長)、酒井田支部長をはじめ名古屋支部役員全員参加で建築土木各1作業所、計2作業所に対し実施し、安全指導・要望事項を今後の安全管理に生かしていただくようお願い致しました。



パトロール員一同



オープニング会議

<建築>岐阜岐山高改築作業所



パトロール員一同



現場巡視

<土木>地整海津 PA 作業所

2. 下期事業予定

- (1) 支部理事会 R6 年 10 月、R7 年 3 月開催予定
- (2) パトロール R7 年 2 月 土木・建築各 1 現場実施予定
- (3) 安全祈願 R6 年 10 月 15 日 伊奈波神社
R7 年 1 月 11 日 猿田彦神社
- (4) その他の事業 熱中症防止対策事業、安全教育用 DVD 貸出、
職長会運営助成事業（助成金、職長ヘルメットの提供）、
行政も推奨している安全啓発明示活動のセーフティリボンを全作業所へ提供



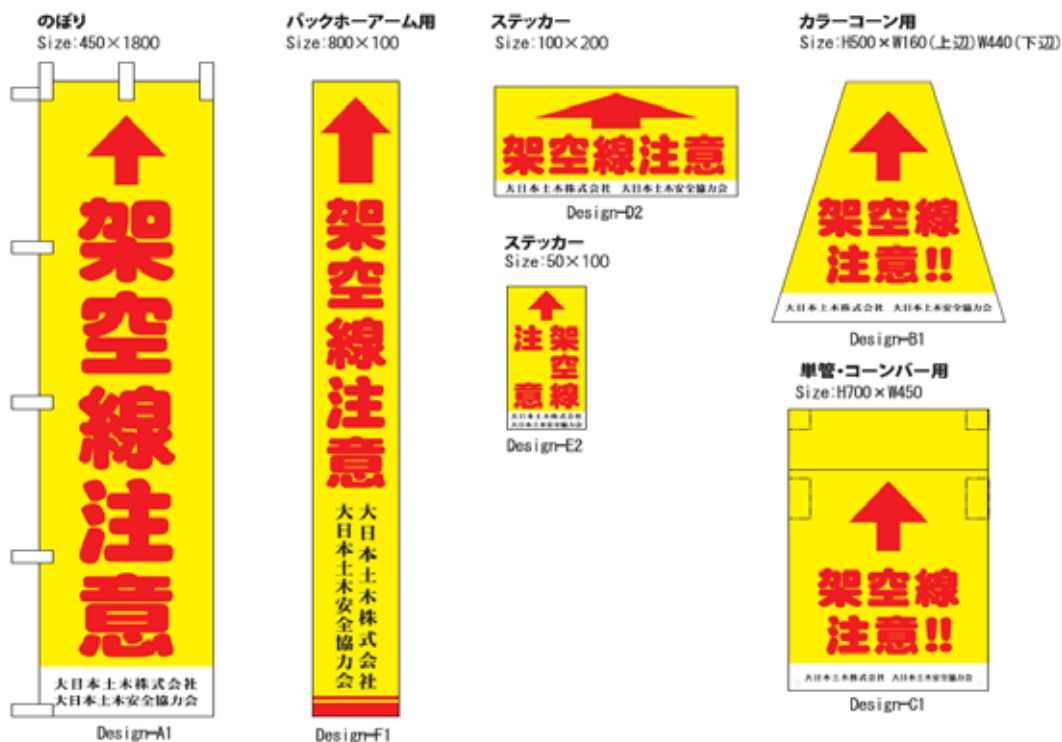
頭上注意



立入禁止

セーフティリボン啓発明示

3. 安全啓発活動



架空線の事故防止にむけ「架空線注意」標識を作成

大阪支部

1. 安全衛生環境パトロール

労働災害の撲滅を目指し、毎月の支社安全衛生環境パトロールに参画して、安全指導を行っています。安全週間の時期には、協力会理事全員参加で土木・建築各作業所のパトロールを実施して安全指導を行うと共に、職長・作業員から要望事項を聴き取り、今後の安全管理に生かしていただくよう作業所をお願い致しました。



パトロール員一同



現場巡視

＜建築＞近不八木マ作業所



＜土木＞堺家原寺配水作業所（パトロール員一同）



＜建築＞奈良県立医科大学 支部長安全講和

2. 下期活動予定

- | | |
|------------|--|
| (1) 支部理事会 | R6 年 10 月 29 日、12 月 13 日、R7 年 3 月 21 日 開催予定 |
| (2) パトロール | R6 年 10 月 30 日 八尾南部配水池、10 月 31 日 大阪平野処理場 |
| (3) 安全祈願 | R7 年 1 月 23 日 大神神社 |
| (4) 賀詞交歓会 | R7 年 1 月 27 日 |
| (5) その他の事業 | 熱中症防止対策事業、安全教育用DVD貸出、特別教育の実施
職長会運営助成事業（助成金、職長ヘルメットの提供）等 |

SDG s 入門 何のために SDG s に取り組むのか？

SDGs = SD + Gs

Sustainable Development + Goals

持続可能な開発 + 目標

SDG s は S D とゴールを足した言葉です。S D（持続可能な開発）を実現するために、17 のゴールを設定しています。

私たちは、将来世代を犠牲にしない、リスクにさらさない開発をしなくてはなりません。

持続可能な
開発

将来の世代の欲求を満たしつつ
現在の世代の欲求も満足させる
ような開発

将来世代に地球温暖化のツケを回したり、天然資源を使いつくしてしまうことが無いよう、将来世代に配慮し、地球環境に責任を持つ開発が求められます。

現在、建設業では、自社の既存の取り組みが SDG s のどれに関連しているか紐づける、いわゆるマッピングにとどまっていることが多いと言われております。

しかし、私たちが国内、国外で公共性の高い建造物を造り、多くの人の暮らしを豊かにすること、工事を行う中で、自然エネルギーや廃棄物に関心を持って環境問題に取り組んでいることは、SDG s に必ず当てはまっているはずです。

私たちが現場で行っていることが、S D（持続可能な開発）のために、どのように役立っているか、どのゴールに該当しているか、考えること、知っていることはとても重要です。

例えば、現場で発生した産業廃棄物において、「廃プラスチック」を分別・リサイクルしている活動は、SDG s の「14 海の豊かさを守ろう」を推進していると言えます。

最後に、国連持続可能な開発サミットの成果文書である「2030 アジェンダ」のなかで、SDG s のビジョンとしての象徴的な二つの言葉を紹介します。

貧困を終わらせることに成功する
最初の世代になり得る

地球を救う機会を持つ
最後の世代にもなるかも知れない

作成：安全協力会本部事務局

参考文献： 正しく理解できる SDGs 入門編eラーニング【AirCourse】

創立 80 周年 **DNC.** 大日本土木 株式会社

大日本土木株式会社は創立 80 周年を迎え、記念事業を行いました。

社旗 リニューアル



コーポレートアイデンティティを反映した現代的なデザインにリニューアル。

枠文字化された **DNC** は「環境・空間」を表しています。

左の球 ● は「人」、右の球 ● は「自然」を示し、全体的には人々の暮らしにわたたく、自然にやさしい環境・空間を、将来にわたって創造してゆく『大日本土木』という企業体を表現しています。

社史

大日本土木の歴史と歩みをつづった社史をホームページに掲載しました。



[平成元年～令和6年]
『明日への礎』
大日本土木 80 年史
—近 35 年の歩み—



[昭和17年～昭和64年]
『未来を創る男たち』
—大日本土木の歩み—

作業用ユニフォーム リニューアル

全従業員にアンケートを実施し投票をもとにデザインを決定しました。

「毎日着る服だから、楽しく着こなしたい。」をコンセプトにブルー・レッド・グリーンのコーポレートカラーを配置し「安心をつくり続ける」の企業理念を表現。動きやすさと審美性の両立を実現し、夏用は、高通気素材やベンチレーション機能に消臭機能をプラス。ポケットはフルハーネス着用時にも使用しやすく、収容物の落下防止機能を備えました。大日本土木は新しいユニフォームにより、創立以来の「誠実で確かなものづくり」にこれからも取り組んでまいります。



【企業理念】

安心をつくり続ける。

大日本土木は、信頼に応える安定した企業経営を続け、
確かな技術と品質で、世界中の安心な暮らしを支える。

【スローガン】

今日と違う、明日を拓こう。

DNC. 大日本土木